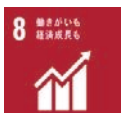


## 第4章

# 戦略体系に基づく具体の取組

## DX戦略 多様なデジタル実装に向け、基礎となる環境を創る

〈主な関連SDGs〉



- 4 質の高い教育をみんなに
- 8 働きがいも経済成長も
- 9 産業と技術革新の基盤をつくろう
- 11 住み続けられるまちづくりを



### DX戦略のめざす方向性・効果

デジタル基盤の整備

デジタル人材の育成

デジタル格差の解消

DX

- ◆3つの基本戦略を強化・深化
- ◆「総合戦略」により創出される好循環を加速化
- ◆まちづくり全般の強化・深化

基本目標	実績(見込)	目標				
	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	令和9年度(2027)
オンライン申請利用満足度 〈年2回実施〉(%)	—	65.0	70.0	75.0	76.0	77.0
全業務に対するBPRの実施率 (%)【累計】	0.0	20.0	40.0	100.0	100.0	100.0

### (1) デジタル実装を加速化できる環境へ

#### ①基幹系システム標準化・共通化

「地方公共団体情報システムの標準化に関する法律」(令和3年法律第40号)において規定される標準化対象20業務のシステムについて、令和7年度末までに標準化基準に適合したシステムに移行するとともに、国が示す技術的仕様を踏まえ、ガバメントクラウドへの移行と運用体制の構築を図ります。



- ◆ぴったりサービス等オンライン申請システムの利用による申請データについて、標準化対象システムにシームレスに連携させることで、住民の利便性向上や職員の受付・バックヤード処理の省力化に貢献するサービス提供・実施体制を構築
- ◆マイナンバーカードを利用した窓口DXを実施し、「書かない窓口」の実現

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
標準化対象20業務におけるBPR実施業務比率(%)【累計】	40.0	60.0	80.0	100.0	100.0	100.0
標準化・共通化が実施された業務システム数(件)【累計】	0	0	0	20	20	20
システム運用経費削減率(平成30年度比)(%)	0.0	0.0	0.0	0.0	30.0	30.0

## ② “デジタルワンストップ” 窓口

国が定めた自治体DX推進計画の中で重点取組事項とされている「行政手続のオンライン化」を積極的に推進することで、市役所に来なくても各種行政手続がパソコンやスマートフォン等で行える「デジタルワンストップ窓口」を段階的に創設します。

取組段階では、市役所内の各窓口にパソコンやタブレット等を設置し、職員のサポートを得ながら各種手続が行える形からスタートし、最終的には、誰もが市役所窓口に来なくても各種手続がデジタルで行える形へと展開していきます。



- ◆市民・職員の双方が、デジタル技術を活用したサービスに慣れ親しみ、そのメリットを早い段階で実感できる態勢・環境の構築
- ◆市民向けにはデジタルデバインド対策等の観点、職員向けにはデジタル人材の育成等の観点を取り入れ、単なる“現行業務のデジタルへの置き換え”にならないよう配慮
- ◆将来展望として掲げる「洲本市情報統括アプリ」導入のロードマップ検討  
対面でのワンストップ窓口 ⇒ ポータルサイトとしての洲本市ホームページの進化  
⇒ ホームページとアプリとの棲み分け

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
全業務に対するBPRの実施率(%)【累計】	0.0	20.0	40.0	100.0	100.0	100.0
常勤の一般行政職のDX研修受講率(%)【累計】	0.0	20.0	40.0	100.0	100.0	100.0
オンライン化された行政手続数(%)【累計】	0	4	30	100	100	100
庁舎内での平均滞留時間減少率<年4回実施>(%)	-	10.0	15.0	20.0	21.0	22.0
オンライン申請利用満足度<年2回実施>(%)	-	65.0	70.0	75.0	76.0	77.0

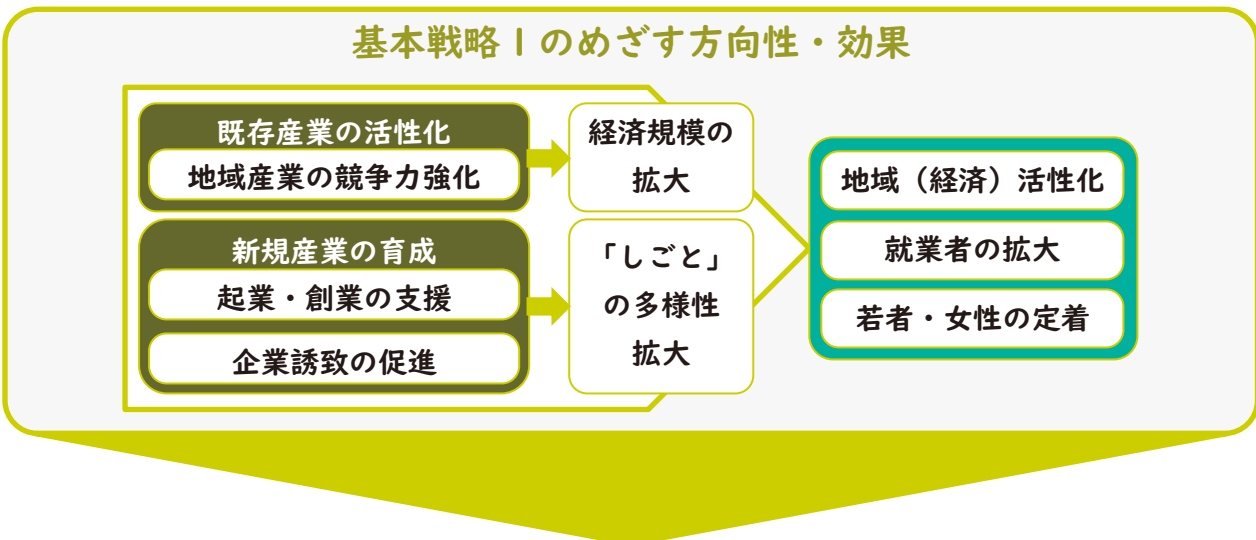
# 基本戦略Ⅰ 新しい時代の流れを力に、チャレンジ精神と創意に富む人を応援し、「しごと」を創る

## 〈主な関連SDGs〉



4 質の高い教育をみんなに  
5 ジェンダー平等を実現しよう  
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  
8 働きがいも経済成長も  
9 産業と技術革新の基盤をつくろう  
11 住み続けられるまちづくりを  
12 つくる責任つかう責任  
14 海の豊かさを守ろう  
15 陸の豊かさを守ろう  
17 パートナースhipで目標を達成しよう

## 基本戦略Ⅰのめざす方向性・効果



基本目標	実績	目標				
	令和2年度 (2020)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
女性の労働力率〈国勢調査〉 (%)	52.2	-	-	55.0	-	-
昼夜間人口比率〈国勢調査〉	102.6	-	-	101.0	-	-

## (1) 競争力のある農林水産業へ

### ①多様な農業担い手の確保・育成

U・J・Iターンを含めた次世代を担う新規就農者の一定数の確保を図るとともに、認定農業者、認定新規就農者及び集落営農組織等への経営安定の支援を行い、多様な担い手の確保・育成を図ります。



◆作業効率の向上をめざしたハード面の整備に加え、スマート農業の推進などによる担い手確保と農業振興

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
認定農業者数(人)【累計】	130	132	134	136	138	140
認定新規就農者数(人)	20	21	22	23	24	25
集落営農組織数(組織)【累計】	23	24	25	26	27	28

## ②畜産業の振興

本市の農業の中で重要な位置を占めている肉用牛生産及び酪農に関して、繁殖用雌子牛の導入等への補助のほか、増頭による畜産経営の拡大を図るため牛舎の増改築への支援等を行いながら、本市の畜産業の維持並びに発展を図ります。



◆作業効率の向上をめざしたハード面の整備に加え、スマート農業の推進などによる担い手確保と農業振興

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
和牛・乳牛成牛飼育頭数 (頭)【累計】	5,655	5,600	5,550	5,500	5,450	5,400

## ③農業基盤整備

高齢化、後継者不足により農業経営が厳しい状況の中、ほ場整備により区画整理した農地で省力化、効率化による収益性の向上を図り、持続可能な農業の確立をめざします。

また、南淡路地域の農産物の流通ルートを確保し、農業経営効率の向上を図り、農業生産基盤を整えるとともに、広域農道の整備による周辺地域の活性化を図ります。



◆作業効率の向上をめざしたハード面の整備に加え、スマート農業の推進などによる担い手確保と農業振興

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
新規整備地区数(地形図作成 レベル)(地区)【累計】	1	2	3	4	4	4
広域農道供用率(%)【累計】	89.0	89.0	89.0	100.0	100.0	100.0

## ④水産業の振興

水産資源の保護・増大を図るため、漁業協同組合等と協働し、稚魚稚貝の中間育成や放流等による「つくり育てる漁業」を推進するとともに、魚価の低迷により経営が厳しい漁業組合等の施設整備や事業活動に対する経費補助を行うことで、水産業の活性化を図ります。



- ◆インフラ・建築物の3次元データ化、遠隔制御
- ◆ドローンや画像認識技術を活用した維持管理
- ◆産直ECサイトを活用した、生産者と消費者のマッチング
- ◆GISを活用した漁場の保全

K P I	実績	目 標				
	平成29～ 令和3年度 平均	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
年間漁獲量(トン)	1,358	1,386	1,414	1,442	1,471	1,500

### ⑤漁港施設の長寿命化

漁港・海岸施設の適正な維持管理を行い、機能保全工事による長寿命化を図ることで、安心して漁業を営める環境をつくり、漁業協同組合の経営向上につなげます。



- ◆インフラ・建築物の3次元データ化、遠隔制御
- ◆ドローンや画像認識技術を活用した維持管理

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和3年度 (2021)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
洲本市3漁協の正組合員一人 当たりの漁獲高(千円)	3,146	3,548	3,667	3,793	3,929	4,074

## (2) 未来につながる起業・創業へ

### ①起業支援

シニアを含めた幅広い世代の起業を支援するため、起業時等に必要となる経費の一部を補助し、スムーズに起業の準備、開設ができるように支援することで、市内における起業環境を整備し、地域経済の活性化につなげていきます。



- ◆デジタル関連分野での起業を推進

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
起業・創業補助件数(件)	33	30	30	30	30	30

### ②域学連携発ローカルイノベーション

域学連携(地域と大学との連携によるまちづくり活動)から生まれた関係人口との連携、産官学金連携によるまちづくりや、地域をフィールドとする実践型の学び・研修・リスキルの機会の提供などのアウトプットとして、地域に変革をもたらす取組(ローカルイノベーション・ローカルプロジェクト)を創出するとともに、地域でのチャレンジマインドの醸成や、起業・創業につなげていきます。



### ◆デジタル活用に関するプロジェクト創出

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
多様な連携により創出したプロジェクト数(件)【累計】	15	15	16	16	17	17

## (3) 地域の活力となる企業誘致へ

### ①企業立地の促進

企業誘致を促進するため、新たな企業用地の確保や未整備の企業用地の整備と併せて、企業誘致条例等による支援制度を活用し、市外企業の本市への誘引力を高めるとともに、市内企業の事業所の拡張や移転にも取り組むことにより、雇用の創出と地域経済の活性化を図ります。



- ◆IT事業所の誘致
- ◆ワーケーションの推進

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
企業立地支援制度を活用した企業数(件)【累計】	1	2	2	2	2	2

### ②サテライトオフィス等誘致

テレワークや複業など、多様な働き方がますます拡大する中、サテライトオフィスやシェアオフィス、コワーキングスペースの設置・活用を推進することにより、市域外の企業を誘致し、地域における雇用の創出と働き手の人材流出を防止し、地域経済の活性化を図ります。



- ◆IT事業所の誘致
- ◆テレワークやフレックス制の推進
- ◆デジタル人材の育成
- ◆ワーケーションの推進

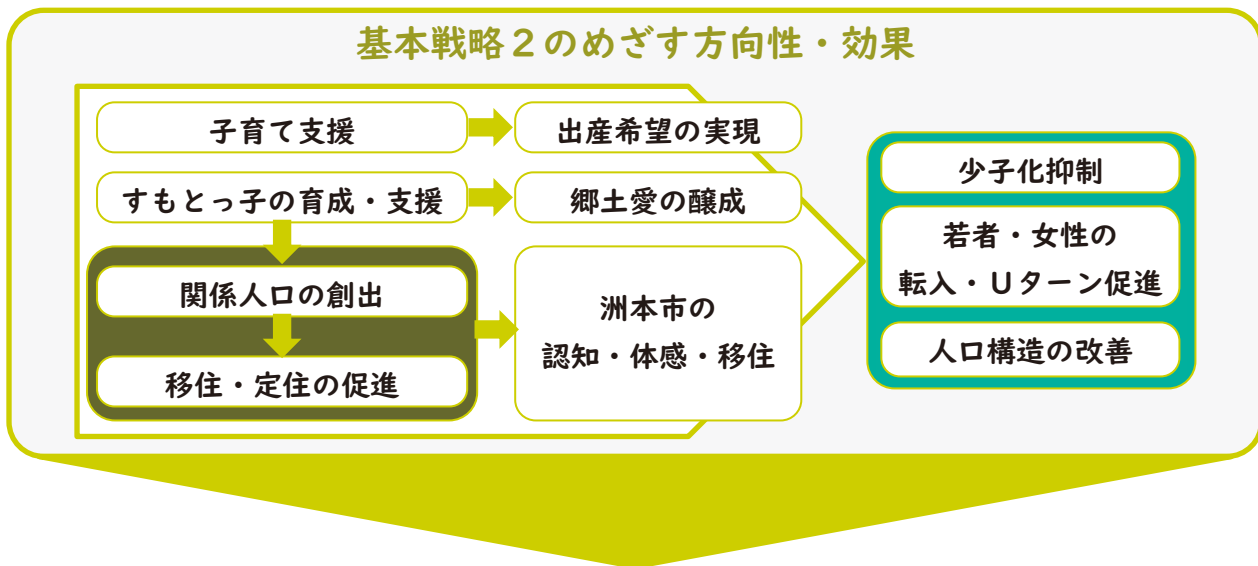
K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
IT事業所開設支援、コワーキングスペース開設事業所数(件)	1	2	2	2	2	2

## 基本戦略2 子育ての楽しみを分かち合い、人が出会い、「ひと」を育む社会を創る

### 〈主な関連SDGs〉



### 基本戦略2のめざす方向性・効果



基本目標	実績(見込)	目標				
	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	令和9年度(2027)
出生数(人)	206	230	230	230	230	230
男性の社会動態比	0.96	0.97	0.98	0.99	1.00	1.00
女性の社会動態比	1.00	1.01	1.01	1.02	1.02	1.02
観光消費額(百万円)	28,493	30,000	30,000	35,000	32,000	32,000
観光GDP(百万円)	13,907	14,500	14,500	18,000	16,500	16,500

### (1) 子育ての喜びを実感できる人へ

#### ①地域子育て支援拠点(にこにこひろば)

育児グループの育成支援や子育てに関する講座を通して情報提供を行い、子育て中の親のつながり、仲間づくりなどネットワークを構築します。



### ◆子育て関係手続きのオンライン化

KPI	実績(見込)	目標				
	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	令和9年度(2027)
延べ参加者数(人)	20,000	21,000	22,000	23,000	24,000	25,000

#### ②待機児童対策の推進

待機児童対策の継続的な推進により、「安心して働き、子どもを生み、育てられる環境」をつくるとともに、どこよりも子育てしやすく、子育て世代に選ばれるまちをめざします。



### ◆ICTシステムの活用による保育所業務の改善、保育の質の向上、保育士の確保

KPI	実績(見込)	目標				
	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	令和9年度(2027)
待機児童数(人)	6	5	5	5	0	0

#### ③「なのは」の活用

子育て世代に人気のある市公式マスコットキャラクター「なのは」を活用し、まちの情報を伝えたい人に発信し、「子育てにやさしいまち」のイメージを形成していきます。



### ◆SNSの有効活用

KPI	実績(見込)	目標				
	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	令和9年度(2027)
「なのは」を活用したイベントの開催回数(回)	10	10	10	15	15	20

#### ④質の高い教育・保育環境の充実

保育所を統合して認定こども園の整備を推進し、十分な保育士数や育ちの段階に応じた活動に必要な集団規模を確保することで、質の高い教育・保育環境の充実を図ります。



### ◆ICTシステムの活用による保育所業務の改善、保育の質の向上、保育士の確保

KPI	実績(見込)	目標				
	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	令和9年度(2027)
市内の公立認定こども園の数【累計】	1	1	1	1	2	2



## (2) 洲本で育ち洲本を愛することもたちへ

### ①すもとっ子∞塾

中学校への出前講座や京都大学へのキャンパスツアーなど大学生や幅広い分野の有識者からの学びを通して、心豊かな人間性を育てます。



◆出前講座におけるタブレットの特性を利用した講座の企画

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
中学生と大学生との交流機会 (出前講座)の開催校数 (校)	3	5	5	5	5	5

### ②すもとっ子MANABIプロジェクト

地域の高齢者等が培った豊かな経験や知恵、技術を子どもたちに伝え、子どもたちの社会性や豊かな情操を育み、子どもの健全育成を図ります。



◆参加者を広く募集するためのSNSの有効活用

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
参加者数(人)	500	510	515	520	525	530
地域の指導者数(人) ※協力者は含まない	8	10	10	10	10	10

### ③科学のふしぎ三島教室

郷土の発明家「三島徳七博士」と縁のある東京工業大学公認サークル「東工大 Science Techno」が講師を務め、市内の小学生を対象に工作教室を通して、子どもたちが科学に触れ、興味を持つ機会をつくとともに、未来の社会に貢献できる想像力豊かな人材の育成を図ります。

また、教室を通して子どもたちの郷土愛を深めていきます。



- ◆参加者を広く募集するためのSNSの有効活用
- ◆アンケート回収率の向上に向けたWebアンケートの導入

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
参加者のアンケート満足度 (%)	-	70.0	70.0	70.0	70.0	70.0

#### ④アスリートネットワークプロジェクト

トップアスリートとの交流を通して、子どもたちに夢と希望、そして本物の感動を伝え、子どもの運動能力及び社会適応能力の向上を図ります。



◆参加者を広く募集するための SNS の有効活用

K P I	実績 (見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
参加者数 (人)	84	200	300	300	400	400

### (3) 洲本を知り、体感したい人へ

#### ①瀬戸内海国立公園利用拠点整備改善

瀬戸内海国立公園先山地区は、展望地だけでなく、近年はパワースポットとしても人気となり、自然を満喫できる上質な受入体制を整備する必要があります。公園利用者の受け入れ環境向上のため、豊かな自然や景観を維持しつつ利用拠点の整備改善を進めます。

また、瀬戸内海国立公園三熊山地区及び由良地区は、施設・設備などの老朽化が進んでいる一方、史跡洲本城としての高い歴史的価値や紀淡海峡の優れた景観は洲本市の魅力そのものであり、訪れる人に感動を与えるものです。今後も多くの人に利用してもらうため、これらの更新を含めた再整備による磨き上げが必要です。さらなる交流人口増加のため、利用拠点の整備改善を進めます。



- ◆観光地における VR/AR 技術の活用
- ◆パーソナリティ分析による観光施策への活用
- ◆メタバースによる観光・イベント施策の展開
- ◆統一 QR「JPQR」によるキャッシュレスの推進
- ◆SNS の有効活用
- ◆産直 EC サイトを活用した生産者と消費者のマッチング

K P I	実績 (見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
総入込客数 (人)	900,000	930,000	960,000	1,000,000	1,030,000	1,060,000

#### ②観光対策

洲本の強みである「食（御食国）」と「温泉」を生かし、ワーケーションなどさまざまな旅行スタイルのニーズに合わせた観光コンテンツづくりを行い、対象となるターゲットを絞った効果的な情報発信をしていきます。

また、洲本の玄関口である洲本バスセンターや、近代化産業遺産（経済産業省認定）の一つである「S B R I C K」などの既存施設を生かしながら、まちなかの周遊性を高めることを目指します。

さらに、2025 年に開催される大阪・関西万博などの機会を生かした誘客事業を実施し、多言語対応やキャッシュレス決済の導入など、インバウンド対策を行うとともに、受け入れ態勢の充実を図り、瀬戸内や大阪湾ベイエリアなど広域観光のネットワーク化をめざします。



- ◆観光地における VR/AR 技術の活用
- ◆パーソントリップ分析による観光施策への活用
- ◆メタバースによる観光・イベント施策の展開
- ◆統一 QR「JPQR」によるキャッシュレスの推進
- ◆産直 EC サイトを活用した生産者と消費者のマッチング

K P I	実績（見込）	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
S BRICK 入込客数（人）	51,000	52,000	53,000	55,000	55,000	55,000

### ③高田屋嘉兵衛公園を通じた地域活性化

令和元年度に重点「道の駅」として選定された高田屋嘉兵衛公園の整備及び「道の駅」への登録を進め、五色地域の振興を図ります。



- ◆観光地における VR/AR 技術の活用
- ◆パーソントリップ分析による観光施策への活用
- ◆メタバースによる観光・イベント施策の展開
- ◆統一 QR「JPQR」によるキャッシュレスの推進
- ◆マイナンバーカードを活用した自治体ポイントの導入
- ◆産直 EC サイトを活用した生産者と消費者のマッチング

K P I	実績（見込）	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
高田屋顕彰館・歴史文化資料館の入館者数（人）	3,000	4,000	5,000	7,000	8,000	9,000

### ④WMG2027 関西「あわじ島ウォーク」

令和9（2027）年に再延期となった、本市を会場とするワールドマスターズゲームズ2027 関西オープン競技「あわじ島ウォーク」の開催を成功させるとともに、成功に向けて島内三市が連携した継続的なスポーツ振興事業を実施し、交流人口の増加による地域の活性化を図ります。



### ◆参加者を広く募集するための SNS の有効活用

K P I	実績 (見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
参加者数 (人)	369	400	500	500	700	800

#### ⑤あわじ島スポーツフェスティバル

全国から参加できる独自のスポーツイベント等を島内三市で開催し、淡路島をPRするとともに、スポーツ交流を通してスポーツの振興と交流人口の増加による地域の活性化を図ります。



### ◆参加者を広く募集するための SNS の有効活用

K P I	実績 (見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
参加者数 (人)	372	600	650	700	700	800

#### ⑥域学連携

域学連携（地域と大学との連携によるまちづくり活動）を推進するとともに、この仕組みをベースに、大学だけではなく、都市部の住民や企業、大学卒業生など多様な関係人口と連携したまちづくりに発展させます。

また、事業推進のため、地域をフィールドとする実践型の学び・研修・リスキルの機会を創出し、幅広く提供するためのプラットフォーム（地域運営組織等）を構築します。



### ◆デジタルに関する学びの機会創出

K P I	実績 (見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
地域団体と大学との連携プロジェクト数 (件) 【累計】	11	12	13	14	15	16

#### ⑦はじまりの場づくり

地域や企業のお困りごとから社会課題までを、「やらんか!」、「よっしゃー!」の姿勢で、チャレンジを促し、さまざまな出会いが数珠つなぎのように連鎖し、ワクワクする冒険心をもって、人と人をつなげる場を創出します。



- ◆専用 HP での情報発信やオンラインでの相談会やセミナーの開催
- ◆SNS等を活用した発信やマッチング

K P I	実績 (見込)	目 標				
	令和 4 年度 (2022)	令和 5 年度 (2023)	令和 6 年度 (2024)	令和 7 年度 (2025)	令和 8 年度 (2026)	令和 9 年度 (2027)
人財バンク登録者数 (人) 【累計】	23	30	35	40	45	50

#### (4) 洲本で暮らしたい人へ

##### ①移住・定住促進

移住相談会やオンラインセミナー、「淡路島 洲本移住ナビ」(移住希望者向け情報発信サイト)などを通して、市の魅力や情報を発信するとともに、お試し移住短期滞在支援事業やすもと新生活スタートアップ支援事業(移住世帯)などの効果的な運用により、移住・定住者の増加を図ります。



- ◆専用 HP での情報発信やオンラインでの相談会やセミナーの開催
- ◆AI チャットボットを活用した移住定住相談
- ◆公共施設のテレワーク拠点化

K P I	実績 (見込)	目 標				
	令和 4 年度 (2022)	令和 5 年度 (2023)	令和 6 年度 (2024)	令和 7 年度 (2025)	令和 8 年度 (2026)	令和 9 年度 (2027)
すもと新生活スタートアップ支援事業(移住世帯)を活用した移住・定住者数(人)【累計】	170	180	200	200	220	220

##### ②洲本市地域おこし協力隊

地域おこし協力隊制度の導入により、地域に外部人材を登用し、ソーシャルビジネスの創出を支援し、地域の担い手として育成していきます。



- ◆地域の DX 人材育成プログラムの構築
- ◆幅広く人材を募集するためのオンライン面接の導入・活用

K P I	実績 (見込)	目 標				
	令和 4 年度 (2022)	令和 5 年度 (2023)	令和 6 年度 (2024)	令和 7 年度 (2025)	令和 8 年度 (2026)	令和 9 年度 (2027)
洲本市地域おこし協力隊定住率 (%)【累計】	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0	75.0
洲本市地域おこし協力隊発案プロジェクト数(件)【累計】	5	8	10	12	15	18
洲本市地域おこし協力隊発案イベント参加者数(人)	50	100	100	200	150	150

### ③ SNS等を活用した域内・域外への発信

広報紙の発信媒体を増やすことで、市域内外の読者数増加を図ります。

特にスマートフォンを多用する若年層への情報発信を強化することで、本市の行政情報、イベント等情報への関心を高めながら、交流人口の増加につなげていきます。

また、東京や大阪に設置したアンテナショップを拠点に、移住イベントを実施し、移住に向けた機運を醸成するために、SNS等を活用した情報発信を強化することで、本市の行政情報、イベント等情報へ関心を高めながら、定住人口の増加につなげていきます。



- ◆ SNS等を活用するだけでなく、情報伝達の即時性等の媒体特性を活用した情報発信についても検討
- ◆ グーグルアナリティクスを活用したターゲット分析

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
Instagramのフォロワー数 (人)【累計】	1,800	2,000	2,200	2,400	2,600	2,800
移住イベント(オンライン) 回数	1	2	2	3	3	3

### ④ 情報統括アプリの構築

市の情報をアプリに統括することにより、特にスマートフォンを多用する若年層への情報発信を強化することで、本市の行政情報、イベント等情報への関心を高めながら、市民サービスの向上を図ります。

また、既存アプリやマイナンバーカードとの連携により、申請業務の効率化を図るとともに、SNS等を活用した発信により、親しみのある行政をめざします。



- ◆ 情報伝達の即時性等の媒体特性を活用したSNS等による情報発信

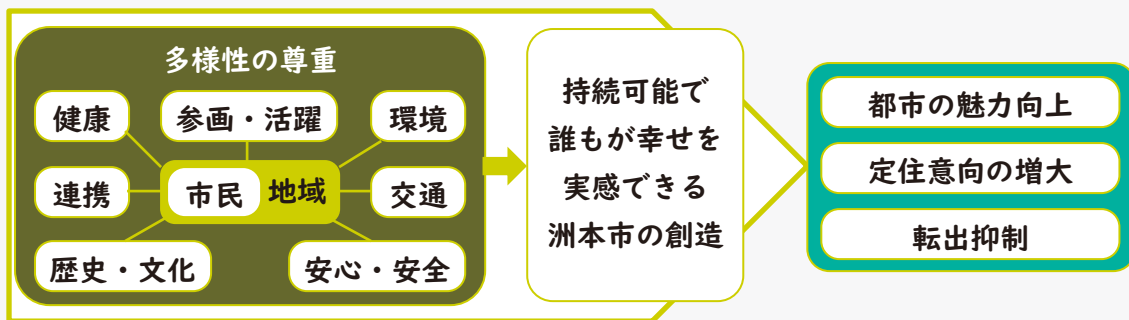
K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
アプリダウンロード数(件) 【累計】	0	1,000	2,000	5,000	6,000	6,500

# 基本戦略3 誰ひとり取り残されることなく、誰もが豊かにいきいきと暮らせる「まち」を創る

〈主な関連SDGs〉

2 飢餓をゼロに  
3 すべての人に健康と福祉を  
4 質の高い教育をみんなに  
5 ジェンダー平等を実現しよう  
7 エネルギーをみんなにそしてクリーンに  
8 働きがいも経済成長も  
9 産業と技術革新の基盤をつくろう  
10 人や国の不平等をなくそう  
11 住み続けられるまちづくりを  
13 気候変動に具体的な対策を  
16 平和と公正をすべての人に  
17 パートナーシップで目標を達成しよう

## 基本戦略3のめざす方向性・効果



基本目標	実績(見込)	目標				
	令和4年度(2022)	令和5年度(2023)	令和6年度(2024)	令和7年度(2025)	令和8年度(2026)	令和9年度(2027)
「住みやすい」と感じる市民の割合(%)	65.3	-	-	-	-	70.0
「住み続けたい」と感じる市民の割合(%)	52.9	-	-	-	-	65.0

### (1) 健康で安心して暮らせるまちへ

#### ①誰もが健康で安心して過ごせる持続可能なまちづくり

乳幼児期から高齢期に至るまで、ライフステージに応じた切れ目のない健康増進・食育・自殺対策の推進を図り、誰もが健やかに安心して暮らせる持続可能なまちづくりを進めます。



◆各種検診のオンライン予約

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
健康診査受診率 〈国保40-74歳〉(%)	37.3	60.0	60.0	60.0	60.0	60.0
健康診査受診率〈生保〉(%)	7.3	30.0	30.0	30.0	30.0	30.0
妊婦の受動喫煙率(%)	21.3	19.0	17.0	15.0	13.0	10.0
食育応援協力機関数(機関)	50	51	52	53	54	55
ゲートキーパー研修受講者数 (人)【累計】	3,340	3,600	3,860	4,120	4,380	4,640

## ② ICT活用による相談・保健指導

ICTの活用により、相談者や支援対象者の属性・世代・相談支援内容に関わらず、誰もが相談や保健指導等を利用しやすい環境を整備し、予防視点の相談支援を充実させます。

また、複雑化・複合化した事例についても包括的で継続的な相談支援を行い、複雑困難化した健康課題の解決を図ります。



- ◆相談等に繋がりにくい人が必要な支援を受けやすい環境を整えるためのオンラインによる相談・面談・保健指導體制の構築
- ◆個人だけではなく家族を単位とした包括的で予防重視の支援に向けたICTによる相談・支援記録の管理体制の構築

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
ICTを活用した相談・保健指導の延べ件数〈母子保健SNS相談〉(件)	75	90	95	100	105	110
ICTを活用した相談・保健指導の延べ件数〈SNSこころの相談〉(件)	88	90	95	100	105	110

## (2) 誰もが活躍できるまちへ

### ① GENKIすもっとサポーター養成

超高齢化社会において介護予防の意識も高まる中、健康寿命も伸びており、元気な高齢者やいつまでも社会の役に立ちたいと考える高齢者も多いため、こうした人材を健康や住まいに関する講座を通じて地域社会の「サポーター」として育成し、地域のニーズにつなげていきます。



- ◆オンライン会議の活用



K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
サポーター養成講座への年間 延べ参加者数(人)	178	170	170	170	170	170

## ②生涯学習人材バンク

知識や技術、経験を地域のために役立てようとする個人、団体を登録し、学習活動等の情報を求める市民に情報提供を行います。

登録者と利用者をマッチングすることで、新たな活動の場を創出するとともに、青少年の健全育成、まちづくり人材等の発掘などが期待されます。



- ◆登録申請のオンライン化
- ◆人材データベースのオープン化

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
人材バンク制度活用 の取組件数(件)	9	9	10	10	11	11

## ③ワークライフバランスの推進

働くことを希望するすべての人が、障害の有無や国籍、性別等に関わりなく、ライフスタイルに応じて、多様で柔軟な働き方が選択できるよう、仕事と家庭・地域での活動の調和がとれた生活(ワークライフバランス)の推進を図ります。



- ◆SNSの有効活用
- ◆ポータルサイトを  
活用したデータのオープン化

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
WLB認定企業(件数)	3	3	4	4	5	5

## ④洲本市未来投資推進事業

地域における交流イベントや防災減災に関する取組、また、集会施設の改修やだんじりの改修などについて支援し、市民、事業者、各種団体の自主的な活動の拡大を図り、地域コミュニティの維持並びに活性化を推進します。



- ◆デジタルを活用した自主的な活動の推進

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
洲本市未来投資推進事業採択 件数(件)	38	38	38	38	38	38

### (3) 安全なまちへ

#### ①防災に携わる組織・人材の強化支援

自主防災組織(町内会)等への学習会、防災訓練の実施のほか、消防団員の確保や防災士の育成、消防団施設等の整備を通して、安全・安心なまちづくりを担う組織や人材の強化を図ります。



- ◆タブレットなども活用した防災訓練、防災学習会の企画
- ◆消防団員の情報伝達におけるLINEの活用

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
消防団員数(人)【累計】	893	900	890	880	870	860
防災訓練、防災学習会(出前 講座)の実施地域数(地域)	15	20	23	27	30	30

#### ②防犯・交通の安全啓発

交通安全協会、防犯協会、防犯グループ等の防犯・交通安全に取り組む組織活動を支援するとともに、幼児や児童、高齢者に対する交通安全教室の開催や広報活動を通して、安全・安心なまちづくりを支える人を支援します。



- ◆タブレットなども活用した交通安全教室の企画

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
防犯・交通安全知識の啓発・ 広報活動等の延べ件数(件)	240	270	270	270	270	270

#### ③ため池整備

未整備のまま老朽化が進む危険なため池を改修し、下流域の集落等の安全・安心な暮らしを確保します。



- ◆インフラ・建築物の3次元データ化、遠隔制御
- ◆ドローンや画像認識技術を活用した維持管理

K P I	実績 (見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
ため池改修箇所数 (ヶ所)【累計】	26	26	29	33	36	39

#### (4) 交通基盤の整ったまちへ

##### ①持続可能な公共交通サービス

高速バスや路線バス、コミュニティバスなどにより、淡路島全体の地域公共交通網の維持、確保並びに充実を図ることで、市民の暮らしの充実のほか、観光客の利便性の向上を図りながら持続可能な公共交通を確立します。

交通要衝となっている洲本バスセンターや洲本IC、五色バスセンター等、交通の結節点については、島外、島内への玄関口として、おもてなし環境を整え、ワクワク感を育み、まちなかへ誘導する仕組みづくりを行うとともに、新たな活用方法を検討します。

また、海上交通については、洲本港を大阪湾の海の結節点として、大阪湾のミッシングリンク解消に向けた取組を進めていきます。



◆予約、運賃の支払い、乗換案内、走行場所の確認など、利用者にとって便利だと思ってもらえる仕組みづくりへのITの活用

K P I	実績 (見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
地域公共交通 (路線バス・コミュニティバス) の利用者数 (人)	290,475	369,800	366,800	363,900	361,000	358,100

#### (5) 環境に配慮したまちへ

##### ①ごみ減量化

ごみの減量化の学習、PRのほか、ごみの排出抑制・分別収集に関する情報発信を行うとともに、継続的に各種の啓発活動を展開して、ごみ減量化について市民の意識向上に努めます。

令和4年4月に「プラスチック資源循環促進法」が施行されたことなどを受け、令和5年4月からプラスチックごみの分別収集を開始するとともに、可燃ごみの中でも大きな割合を占める紙類、厨芥類のさらなる削減に向けた対策に取り組んでいきます。



◆ごみ分別方法の容易な検索を可能とするごみ分別検索サイト等の開設

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
市民一人が一日あたりに排出する家庭ごみの量(g)	530	498	487	476	465	455

## ②環境学習

市内小学生による洲本市環境学習施設「エコひろば」の見学や町内会等への出前講座などを通じて、ごみの分別、資源物の処理、地球温暖化などの環境問題を学習し、循環型社会の実現に向けた自主的な行動がとれる人を育成します。



◆タブレットなども活用した講座の企画

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
参加者数(人)	1,000	900	900	900	900	900

## ③再生可能エネルギー資源を活かしたエネルギー事業の創出

世界的な潮流に鑑み、脱炭素、エネルギー自給、地域貢献等に資する再生可能エネルギーの活用と事業化について、連携する大学や民間企業等と検討するとともに、その実現をめざします。



◆デジタルを活用したエネルギー需要の可視化・最適化

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
多様な連携により創出したプロジェクト数(再生可能エネルギーに関するもの)(件)	6	6	6	6	6	6

## (6) 歴史・文化に親しまちへ

### ①歴史文化遺産の魅力発信

市内の歴史文化遺産を活用したイベントやそれらをつないだまち歩きイベントの開催、銅鐸・銅鏡鑄造体験やアンモナイトレプリカ製作体験講座等を通して、洲本や淡路島の歴史を身近に感じ、愛着を持ってもらえるようにするとともに、本市の歴史文化遺産の魅力を内外に発信していきます。



◆まち歩きイベントコースのマップ公開や魅力発信 PR への SNS などの活用

K P I	実績 (見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
参加者数 (人)	200	220	240	260	280	300

## ②歴史文化遺産の次世代への継承

洲本城跡石垣の修復、旧益習館庭園の整備、埋蔵文化財包蔵地情報のデータ化のほか、その他歴史文化遺産を適正に保存し、淡路文化史料館の講座や展示につなげ、広く市民に伝えることで、歴史を身近に感じ、郷土愛を育むことのできる環境を整えます。



◆埋蔵文化財包蔵地情報のデータ化における統合型 GIS への対応

K P I	実績 (見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
淡路文化史料館の入館者数 (人)	5,500	5,700	5,900	6,100	6,300	6,500

## ③図書館の振興

平成27年に全国の図書館3,300館の中から「一度は訪ねて読書したい美しい図書館」の西日本部門で第3位に選ばれた洲本図書館は、旧鐘紡紡績工場跡の赤レンガが印象的な図書館で、全国的に知名度も高いことから、この歴史的地域資源を活用し、図書館市民まつりなどを通して、地域住民の交流のほか、観光客との交流の促進の機会の増大を図ります。

また、五色図書館においても、生涯学習拠点施設として、子どもから大人までさまざまな出会いを通して、こころ豊かに過ごせる空間として、地域に愛される図書館づくりをめざします。



◆参加者を広く募集するための SNS の有効活用

K P I	実績 (見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
イベント参加者数 (人)	4,000	4,500	4,600	4,700	4,800	4,900

## (7) 公民連携・広域連携のまちへ

### ①淡路島定住自立圏の推進

本市と淡路市、南あわじ市との連携・協力により、圏域全体の暮らしに必要な都市機能を集約的に整備し、各種サービスを相互運用などすることにより、圏域全体の活性化を図ります。



◆各種手続きのオンライン化

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
定住自立圏構想対象実施事業数(件)【累計】	17	17	17	17	17	17

### ②持続可能なまちづくりのための公民連携

大学や民間企業等の知見や技術を活用し、協働による事業を推進することによって、地域課題及び行政課題に対応しつつ、活力ある地域社会の実現及び市民サービスの向上等をめざし、持続可能なまちづくりを進めます。



- ◆地域課題のオープンデータ化
- ◆オープンデータやビッグデータを活用したEBPMの推進
- ◆オンライン会議やマッチングプラットフォームの活用

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
連携協定数(件)【累計】	50	55	60	65	70	80
公民連携によるプロジェクト数(件)【累計】	2	5	6	10	12	14

### ③市民協働によるまちづくり

行政だけでは解決できない課題や市民だけでは解決できない課題などに対して、市民活動団体等と行政がお互いの不足を補い、対等なパートナーとして協力し合いながら、課題解決に取り組んでいきます。



- ◆オンラインでの懇談会の開催

K P I	実績(見込)	目 標				
	令和4年度 (2022)	令和5年度 (2023)	令和6年度 (2024)	令和7年度 (2025)	令和8年度 (2026)	令和9年度 (2027)
懇談会の開催数(件)	1	3	5	8	10	12

